

# ちば 県議会だより NO.135

### 会派別議員数

自民党	56人
民主党	16人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
みんなの党	4人
千葉県民の声	1人
無所属の会	1人
開拓	1人
生活が第一	1人
定数95人 現員95人	
(平成24年7月20日現在)	

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

## 六月定例会県議会のあらまし

六月定例会県議会は、六月十二日に招集され、七月六日までの二十五日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、各種条例案等の議案二十二件、報告十八件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六月十九日には、代表質問に先立ち放射能を含むごみ焼却灰に関する一時保管場所を決定した旨の知事発言がありました。

六月十九日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十三名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、放射能問題、医療・福祉対策、雇用問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、六月二十八日から七月三日まで開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決・承認されました。

その後、人事案件四件が追加上程され原案のとおり同意されました。

次に、上程された議員発議案(意見書等)について、二十八件のうち十四件を可決し、今定例会県議会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

また、各常任委員会及び議会運営委員会において、任期満了に伴う委員の選任及び正副委員長の互選が行われました。

最後に伊藤和男議長、田中宗隆副議長の辞職により正副議長選挙が行われました。

## 代表質問

※質問項目は、紙面の都合上一人六項目以内で掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



六月二十日(水)

公明党  
あきばやし たかし  
秋林 貴史 議員  
(松戸市)

- ▼ 震災対策
- ▼ 放射能問題
- ▼ 交通安全対策
- ▼ 安全な水道水対策
- ▼ 老朽化した社会インフラの整備
- ▼ 松戸市立病院



民主党  
ほりえ はつ  
堀江 はつ 議員  
(船橋市)

- ▼ 財政問題
- ▼ 医療・福祉問題
- ▼ 地域防災計画の見直し
- ▼ 雇用・労働問題
- ▼ 治安・交通安全対策
- ▼ DV防止・被害者支援対策



自民党  
にしたさんご  
西田 三十五 議員  
(佐倉市)

- ▼ 財政問題
- ▼ 震災対策
- ▼ 防災体制の強化
- ▼ 放射性物質対策
- ▼ 災害廃棄物の広域処理
- ▼ 観光振興

六月十九日(火)

第66代 議長



かわな ひろあき  
川名 寛章 議員  
(君津市・5期)

第64代 副議長



さとう まさみ  
佐藤 正己 議員  
(習志野市・4期)

7月6日(最終日)の本会議において、第66代議長に川名寛章議員、第64代副議長に佐藤正己議員がそれぞれ選出されました。

就任にあたり、川名議長は「真の豊かさを実現できる県民生活を実現するため、開かれた議会運営を目指し、620万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意その職務に当たりたい。」と抱負を述べました。

また、佐藤副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

## ちば中学生県議会を開催



6月12日の本会議散会后、中学3年生によるちば中学生県議会が開かれました。

中学社会科の「地方の政治と自治」の体験学習として、県内の公立・私立中学校95校から中学生議員と中学生傍聴者の190名が参加しました。

伊藤県議会議長のあいさつにつづき、森田知事から県政の概要説明が行われ、その後、中学生議員が登壇、県の施策等について質問し、関係課長が答弁を行いました。

最後に「交通安全の推進による安心して暮らせるちばづくりに関する決議」を全員一致で可決し、田中副議長のあいさつの後、ちば中学生県議会は終了しました。(決議文は3面に掲載)

